

Kyoto Girls' Orchestra



第38回定期演奏会
2022年3月26日

開場13:15/開演14:00

ごあいさつ

部長挨拶

部長 藤井 めい

本日はお忙しい中、京都女子中学高等学校オーケストラクラブ第 38 回定期演奏会にお越し頂き誠にありがとうございます。

今年度は昨年とは違い、新型コロナウイルスの影響で学校が休校にはならなかったものの部活動の制限が昨年度より厳しくなり、合計 4 ヶ月ほど活動が禁止されました。活動時間が 2 時間に制限されるといった中、なんとかスプリングコンサート、サマーコンサートなどと発表する場を設けることができ、12 月には京都コンサートホールで撮影をさせて頂き、オンラインという形で全国高等学校オーケストラフェスタに参加することができました。全て練習時間が例年と比べて少なく、不安や焦りを感じる毎日でしたが、その中で 1 人 1 人が試行錯誤を繰り返しひとつの音楽を作り上げたということが部員を大きく成長させたのではないかと実感しています。

本日の演奏会の 2 週間前に一定期間の合奏の禁止、1 部のパートの部活停止などがあり、パートリーダーを中心に何を優先して練習していくべきか話し合いを重ねました。それぞれの気合いの分、意見がぶつかり涙する場面もあり、部長として何ができるのか悩む日が続きました。結果当初予定していた曲数から 2 曲減らすという形で本日をむかえましたが、全員で乗り越え気持ちが一気にまとまったと感じられたことは部長としてこの上ない喜びを感じています。

私たち高校 2 年生のオーケストラクラブでの 5 年間・2 年を振り返ってみると、毎日楽器に触れ、喜びや悩みを共有しながら練習を積み重ねてきま

した。全員で音楽を完成させることの感動や達成感、ひたむきに努力し続ける大切さ、何かに打ち込むことのすばらしさなど沢山のことを感じる事ができたのは、様々なことを教えてくださった先輩やここまで着いてきてくれた後輩、切磋琢磨してきた仲間がいてくれたからです。

最後になりましたが本日の定期演奏会を開くにあたり、コロナ禍の中ご協力頂きましたコーチの先生方、活動を支え続けて下さった顧問をはじめとする先生方、お忙しい中応援してくださっている父母の会・オーケストラ部 OG 会の皆様、そして本日コンサートホールまでお越しくださった皆様、全ての方に厚く御礼申し上げます。

私たちの音楽で多くの方に笑顔を届けられるよう、それぞれの想いや感謝の気持ちを込めて平和を願って演奏致します。
それでは、最後までごゆっくりお聴き下さい。

指揮者紹介：成瀬 浩健

1962 年生まれ。中学時代にトロンボーンを始め、関西学院高等部入学、高校在学中から関西学院大学吹奏楽部において指導を受け、大学進学とともに関西学院大学吹奏楽部に入部。大学在学中は明石市で後輩たちの指導を行い、ヤマハエレクトーン講師も務める。

1985 年、就職とともに京都女子中学高等学校オーケストラクラブの指導にあたる。1992 年には関西アマチュアオーケストラフェスティバル招待出場。1995 年から全国高等学校選抜オーケストラフェスタに 23 回出演。指揮法を故伊吹新一氏に、楽曲分析を安村好弘氏に、コントラバスを西出昌弘氏に、クラリネットを村瀬司氏に、トロンボーンを近藤孝司氏に、ジャズ理論を藤ジャースクールの田村文利氏に師事。1992 年明石子午線ウィンドオーケストラ結成時には指揮者を務める。

Program

Polovtsian Dances From Opera "Prince Igor"/ Alexander Borodin

歌劇《イーゴリ公》より「韃靼人の踊り」/アレクサンドル・ボロディン

Finlandia /Jean Sibelius

フィンランディア/ジャン・シベリウス

—休憩—

Tchaikovsky:Symphony No.4 in F Minor,Op.36/ Peter Ilyich Tchaikovsky

交響曲第4番 ヘ短調 作品36 /ピョートル・チャイコフスキー

Concert Mistress 池田真央
Conductor 成瀬浩健

<後援>

京都女子中学高等学校オーケストラ部父母の会
京都女子中学高等学校オーケストラ OG 会
全日本高等学校オーケストラ連盟

弦楽器

Violin	Viola
H2 ☆池田 真央	H2 ◎嶋田 結子
H2 ◎渡邊 沙和	H1 ○鈴木 百葉
H2 ★堀部 楓奈	H1 小竹 ひかり
H2 ○蜂須賀 瑞穂	J3 永田 千佳
H2 一ノ瀬 奏	J3 長町 朋恵
H2 山田 奈緒	J3 山梨 華奈
H2 草木 涼子	J2 日渡 菜央
H2 林口 詩織	J2 小山 佳夏歩
H1 望月 美希	J1 林 夏葵
H1 和田 美緑	J1 高橋 裕花
H1 干場 晴菜	
H1 柴原 加朋	Cello
J3 廣瀬 楓香	H2 ◎宮本 羽菜
J3 森 美楓子	H2 ○藤田 陽菜
J3 田中 こころ	H2 山梨 真奈
J3 伊藤 さら	H2 松村 果穂
J3 仲畑 美希	H1 長村 里鈴
J3 中尾 心乃	H1 森 杏樹
J3 大山 あゆか	J2 竹中 めぐみ
J2 池本 怜	J1 宅野かのん
J2 畑 早苗	J1 道下春香
J2 古閑森 詩	J1 松井優珠
J1 細田 菜亜紗	
J1 大辻子 朋音	ContraBass
J1 谷村 真帆	H2 ◎川真田 衣梨
J1 西村 俐杏	H1 ○堀江 悠月
	J2 成宮 緒珠
	J1 沢井 咲菜

管楽器

Flute	Horn
H2 ◎黒木 さやは	H2 ◎藤井 めい
H2 菊地 清子	H2 木村 早良
H1 津田 早紀	H1 志馬 明香里
H1 池内陽菜	J3 海道 咲那
J3 成宮 日菜	J3 平野 真帆
J2 三輪 華明	J2 鈴木杏梨
J1 依光 沙也華	J1 志澤文菜
	J1 松下明穂
oboe	
H2 ◎鶴我 桃花	Trumpet
H2 岡田 七海	H2 ◎別府 和奏
H1 吉岡 晴	H1 上中 美英
J3 城 ここあ	H1 本庄 彩乃
J3 西川 柚友	J3 藤原 歩波
J2 石田 愛加	J3 和氣 真恵
J1 為岡 華音	J2 松枝 世玲
Clarinet	Trombone & Tuba
H2 ◎竹本 知永	H2 ◎清水 麻衣
H2 近藤 紬	H2 丸岡 裕実花
H1 石川 楓奈恵	H1 藤川 真悠子
J2 大谷 朱音	H1 橋本 陽葉里
J1 石倉 麻椰	J3 澤田 妃七
	J2 谷村 美咲
Fagotto	J1 栗山 陽菜乃
H2 ◎松枝 彩夏	
H2 大日向 京花	Percussion
H1 麻田 真央	H2 ◎横江 日菜詩
J1 片岡 真依	H1 徳永百恵
	J2 笠巻 ありさ
	J1 五井菜月

☆コンサートミストレス
★アシスタント
コンサートミストレス
◎首席奏者

Music introduction

歌劇《イーゴリ公》より「韃靼人の踊り」/ アレクサンドル・ボロディン

この曲、ダッタン人の踊りの作曲者「アレクサンドル・ポルフィリエヴィチ・ボロディン」はロシアの都市「サンクトペテルブルク」に 1833 年 11 月 12 日、生まれました。

優れた教育を受けたボロディンは生涯、有機化学の研究者として多大な業績を残しました。本職化学者、そして作曲家という華々しい経歴をお持ちの方です。オペラ「イーゴリ公」は本職の忙しさから生前に完成させることができませんでしたが、ボロディンの最も重要な作品とされています。

ダッタン人の踊りはキラキラと美しく奇麗なフルートのソロから始まります。照明を浴び、キラキラ光るフルートはとても絵になり心に残るので是非ご注目ください。

次に始まるのは、オーボエ、イングリッシュホルンのソロからスタートする「娘たちの踊り」。この「娘たちの踊り」の流麗な旋律を 1 度聞くときっと永遠に忘れられないことでしょう。

ゆったりとした曲調の後、生き生きと速い曲調に変化します。クラリネット、フルートのメロディが目立ちますが、そのメロディを支える低音楽器の格好良く響く音もご堪能ください。

「全員の踊り」では、弦楽器の揃った弓に心を打たれるでしょう。弦楽器の弓の動きにもご注目を！強い曲調、弱い曲調が繰り返

返されるので強弱の変化を楽しんでください。強い曲調での金管がとても迫力があり格好良く、感動します。

「少年たちの踊りと、男たちの踊り」は弦楽器の猛然とした旋律から始まり、オーボエとクラリネットの掛け合いに繋がります。掛け合いの練習にはとても苦勞しました。その後の弦楽器の掛け合いとともにご注目ください。

その後もう一度奇麗な旋律に戻ります。この旋律は郷愁を感じると言われています。是非、懐かしいあの頃を思い出しながら聴いてみてください。

この曲の最後の見どころは、弦楽器と管楽器の掛け合いにあります。管楽器が「裏拍」を吹き弦楽器が「表拍」を弾いているところ、管楽器が「表拍」を吹き弦楽器が「裏拍」を弾いているところ、があります。どこで表拍、裏拍を交代しているのか注目して聴いてみてください。

この曲、「ダッタン人の踊り」は大半の選曲係が1度はやりたいと言った曲です。難易度が高い曲ですが、部員一同頑張って練習して来たので是非聴いてください！

フィンランディア/ジャン・シベリウス

この曲はフィンランドの作曲家ジャン・シベリウスによって作曲された交響詩で、シベリウスの作品の中では交響曲第2番と並んで知名度の高い曲です。1899年、フィンランド大公国は帝政ロシアによる圧政に苦しめられており、独立運動が起こっていました。そんなロシアからの独立に燃えていたフィンランド国民を鼓

舞したのがこの『フィンランディア』でした。シベリウスがフィンランドに対する熱い愛国心を込めて作曲した名曲です。

今ウクライナではロシアによる侵攻で苦しめられている人がたくさんいます。あってはならない戦争が起こってしまっているのが現状です。ウクライナの人たちに是非知って欲しい一曲であり、そして私たちは少しでも早くウクライナに、また世界中に平和が訪れることを願っています。

そしてもう1つ、私たちにはこの曲に深いエピソードを持っています。現高校2年の6ヵ年生が中学1年生の時に入部した当時、初めて舞台に立ち、演奏したのがこの『フィンランディア』でした。あの時から4年半、直接お世話になった方々を含め、これまでの京女オケを作り上げてくださった先輩方、これからの京女オケを託す後輩たち、そして3ヵ年生を加えた同輩の子たちと再び演奏できる機会を頂けたこと、とても光栄に思っています。ここからはフィンランディアの聴きどころをご紹介します！

- ・中間部のティンパニとチェロから始まり、力強く高揚感のある弦楽器と木管楽器、そして金管楽器による印象的で高らかなリズム。

- ・高揚感のある旋律から一変、木管楽器、そしてそれに続いて弦楽器による「フィンランディア賛歌」と言われるやわらかなメロディー。

- ・再び高揚感のある早いリズムに戻り、フィンランドの勝利に向かっていきます。

部員の思いを乗せ、精一杯演奏致します。お楽しみください！

交響曲第4番 ヘ短調 作品36 / ピョートル・チャイコフスキー

1878年に作曲されたこの作品は、チャイコフスキー4番目の交響曲です。この作品はチャイコフスキーの後期交響曲の始まりであるとともに、全7作ある交響曲の中で最も情動的な作品です。

チャイコフスキーは1877年にヴェネツィアを訪れ、現地のホテルでこの作品を書き上げました。制作期間はわずか15日だったそうです。この時期、メック夫人が支援者になったことにより、経済的な余裕が生まれ、チャイコフスキーは作曲に専念できるようになりました。このことに対する感謝の意を表して、本作はメック夫人に捧げられています。

ちなみにメック夫人とは、14年間も手紙を取り交わして心を通わせていましたが、1度も会う事はなかったようです。そして手紙の中からは、本曲に対する作曲者の見解を見ることができません。日本楽譜出版社のミニチュアスコアの解説にわかり易く書かれていますので、翻訳部分に『 』を付けて下の文章に引用させていただきます。そしてさらにこの作品の各楽章ごとでの聴きどころを首席奏者に語っていただいたので、そちらも是非ご覧ください。

【1楽章 Andante sostenuto—Moderato con anima】

『序奏は全曲の本質である』『圧倒的な運命の力に対してだんだんと絶望的となり、夢のなか、忘却の彼方に逃避しようとする』
〈聴きどころ〉

- ・ Hr と Fg から始まる金管楽器の華やかなファンファーレ
- ・ Fl、Ob、Cl、Fg の木管楽器による掛け合い
- ・ Tb と Tub の軽快な裏メロのリズム
- ・ クライマックスへの助奏と曲の盛り上がり方

【2 楽章 Andantino in modo di canzona】

『夕闇の迫る頃、人が仕事に疲れて家のなかに一人で座っているときの憂鬱な心地。読もうとしていた本もいつしか手許から滑り落ち、数限りない回想がいろいろな形で甦ってくる』

〈聴きどころ〉

- ・ Ob のゆったりとしたソロ
- ・ Va、Vc、Cb の深みのある音色
- ・ 後半の Fl、Ob、Cl、Fg による 1 楽章と似た掛け合い

【3 楽章 Scherzo. Pizzicato ostinato—Allegro】

『これといって明確な感情はない。それは気紛れと陽気な戯れの連続である』

〈聴きどころ〉

- ・ Vn、Va、Vc、Cb の弦楽器全体で魅せるピッチカートの一団感
- ・ Picc の技巧的なソロ
- ・ 木管楽器のメロディーと調和する軽やかな Hr、Tp、Tb のメロディー

【4 楽章 Finale. Allegro con fuoco】

『他の人々の幸福を喜ぶべし、しかして汝は生くることを得』

〈聴きどころ〉

- ・冒頭の速いテンポで迫力のある、みんなで一斉に飛び出すようなメロディー
- ・Hr、Tp、Tb、Tub の金管楽器の 1 楽章でも登場した重圧感があるファンファーレ
- ・Per の迫力のある音色や、裏打ち
- ・まさに「運命」のようなドラマティックなクライマックス

一人ひとりの思いが詰まった私たちの集大成、交響曲第 4 番をお聴きください♪

引退する高2にインタビュー！

- (1) 彼女（恋人）にしたい楽器は？
- (2) の理由は？
- (3) 自分の担当楽器を擬人化したらどんなタイプ？



池田 真央 (Vn)

- (1) バイオリン
- (2) やっぱ1番落ちつく！！
- (3) 清純派

堀部 楓奈 (Vn)

- (1) フルート
- (2) 音色がとても綺麗で好きだから
- (3) 清純派

渡邊 沙和 (Vn)

- (1) トランペット
- (2) 元気で一緒にいて楽しそう～!!
- (3) 美人

蜂須賀 瑞穂 (Vn)

- (1) トライアングル
- (2) 見た目も音も可愛いから。
- (3) 美人

一ノ瀬 奏 (Vn)

- (1) チェロ
- (2) おおらかで付き合いやすそう
- (3) 気分屋

山田 奈緒 (Vn)

- (1) バイオリン
- (2) ずっと一緒にいたから
- (3) 中性的

草木 涼子 (Vn)

- (1) フルート
- (2) かわいい
- (3) 美人

嶋田 結子 (Va)

- (1) チェロ
- (2) かつこいいから(^ ^)
- (3) 臆病

藤田 陽菜 (Vc)

- (1) クラリネット
- (2) 繊細で可愛いから。ドジそう
- (3) 中性的

松村 果穂 (Vc)

- (1) ホルン
- (2) 金管なのに木管のような温かい音だから
- (3) 落ち着いた子

黒木 さやは (Fl)

- (1) フルート
- (2) 私の相棒だから
- (3) 美人

鶴我 桃花 (Ob)

- (1) チェロ
- (2) イケメンやから!!
- (3) 可愛い系

竹本 知永 (Cl)

- (1) チェロ
- (2) 音色が男前
- (3) セクシー

林口 詩織 (Vn)

- (1) フルート
- (2) 優しそう
- (3) 清純派

宮本 羽菜 (Vc)

- (1) チェロ
- (2) 身長差がベスト
- (3) セクシー

山梨 真奈 (Vc)

- (1) チェロ
- (2) 理由なんか無くてもいいのさ
愛があれば。
- (3) セクシー

川真田 衣梨 (Cb)

- (1) コントラバス
- (2) 低音が落ち着くから
- (3) クール

菊池 清子 (Fl)

- (1) コンバス
- (2) 身長があるから
- (3) 清純派

岡田 七海 (Ob)

- (1) ヴァイオリン
- (2) かわいい
- (3) 可愛い系

近藤 紬 (Cl)

- (1) オーボエ
- (2) ダッタン人のオーボエソロが
好きすぎる
- (3) 臆病

松枝 彩夏 (Fg)

- (1) クラリネット
- (2) 優しいから
- (3) アホの子

大日向京花 (Fg)

- (1) コントラバス
- (2) 落ち着いていて頼れる感じがする。甘えさせてくれそう。
- (3) 中性的

藤井 めい (Hr)

- (1) クラリネット
- (2) 目立ちすぎないけど明るくて芯を持っていて愛嬌のある優しい感じがするから！
- (3) ベル（美女と野獣）

木村 早良 (Hr)

- (1) クラリネット
- (2) 音が好きだから
- (3) 中性的

別府 和奏 (Tr)

- (1) オーボエ
- (2) 音色が1番好きな楽器だからです。
- (3) 活動系

横江 日菜詩 (Per)

- (1) トライアングル
- (2) とても繊細で、美しい音色が出る楽器なので、守ってあげたくなるからです。
- (3) 不思議ちゃん

清水 麻衣 (Tb)

- (1) ピッコロ
- (2) 小さくて音が綺麗だから
- (3) 活発系

丸山 裕美花 (Tb)

- (1) フルート
- (2) 音がかわいいから
- (3) クール



Cl 姉妹

(当日欠席のため)

1 年間の活動

- 8月 サマーコンサート
10月 ファンファーレ
12月 全国高等学校オーケストラフェスタ
3月 第38回定期演奏会

Special Thanks for the STAFF

高校部長	藤井 めい	中学部長	藤原 歩波
副部長	堀部 楓奈 清水 麻衣	副部長	澤田 妃七
会計	藤田 陽菜 山梨 真奈		山梨かな
コンサートミストレス	池田 真央	コンサート	廣瀬 楓香
ライブラリアン	嶋田 結子	ミストレス	
	川真田 衣梨		
木管セクションリーダー	黒木 さやは		
金管セクションリーダー	藤井 めい		
高弦セクションリーダー	池田 真央		
低弦セクションリーダー	宮本 羽菜		
パンフレット	山田 奈緒 松枝 彩夏 鶴我 桃花 大日向京花		
選曲	渡邊 沙和 池田 真央 一ノ瀬 奏 林口 詩織		
	松村 果穂 黒木 さやは 竹本 知永 近藤 紬		
	藤井 めい		

